

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	A.M.	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	3年	派遣国	ハンガリー
派遣大学	ELTE 大学		
期間	2023年 9 月 1 日～ 2024年 6 月 25 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <input type="checkbox"/> 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / <input type="checkbox"/> 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	なし	冷蔵庫	○
滞在費	約 (25000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バスと徒歩) で、約 (40) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	20000 円	お肉や野菜、果物、洗剤類
学用品購入費	0 円	
交通費	500 円	バス、電車、トラム乗り放題
交際費	50000—100000 円	旅行に毎月行ったため。
その他	円	

合計 100000～150000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ブダペストはヨーロッパの中でもとても治安がいいので、女子大生が夜中や朝方に歩いていても危ないと感じることはなく、むしろ日本よりも安全だと感じました。しかし念の為、大通りを歩くようにしましょう。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ブダペスト**)

40 歳以上の人は英語を話せない人も多いですが、それより若い人はとても上手に英語を話すので言語のことは心配しなくても大丈夫です。他の国よりもかなり物価が安くとても助かりました。人はムスツとしている見た目の人が多く、話してもとても無愛想ですが彼らたちは怒っているのではなく、それが平常運転なので気にしなくても大丈夫です。街並みも、とても綺麗です。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ELTE 大学	所在地	ブダペスト
最寄空港	リスト・フェレンツ国際空港	空港からの距離	40 分
空港⇄大学	(バスか電車) *移動手段		
学生数	28,542 人	留学生数	3000 人
学部	ECONOMICS EDUCATION AND PSYCHOLOGY HUMANITIES INFORMATICS LAW PRIMARY AND PRE-SCHOOL EDUCATION SCIENCE SOCIAL SCIENCES SPECIAL NEEDS EDUCATION *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	SOCIAL SCIENCES *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Climate change	The history of European integration	Nationalism and ethnicity	Foreign policy analysis	
午後			Contemporary challenges		

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Introduction to constitutionalism	Globalisation Information Society			
午後					

3. 履修内容

科目	Climate change		
履修期間	前期	単位数	5
授業内容／形態	Seminar class. テストはなく、ひたすら先生の話を聞く。気になることや質問があれば随時先生に聞く。気候変動に関することを浅く広く学んでいく。		
成績	Good 4		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 D）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	The history of European integration		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	講していた講義の内、最も難しい。EU 統合の歴史についての予備知識がない上に、使われる単語も難易度が高いものが多い。また毎週の課題はリーディングが30ページ程あり、それを読むのに何時間もかかるが、新しいことを学べているのでとても興味深く面白い。 ・授業の復習が必須。		
成績	Good 4		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Nationalism and ethnicity		
履修期間	前期	単位数	4
授業内容／形態	今日2回目の授業があった。今回は反ユダヤ主義について、当時の人々のアイデンティティの捉え方や時代背景などの視点から学んだ。 ・こちらの授業では発言する機会はなく90分間、先生の話聞き続ける。パソコンや携帯の使用は認められていないため、ノートは紙に書く必要がある。		
成績	Excellent 5		

YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 C）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Contemporary challenges for the society		
履修期間	前期	単位数	5
授業内容／形態	モラルについて、哲学的な視点から学んだり、配分的正義や応報的司法、移行的正義はなぜ重要なのか、これらが機能しないとどうなるのかなどについて考える。		
成績	Excellent 5		
YCU 振替予定	科目	特講（Global Society and Issues）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Foreign policy analysis		
履修期間	前期	単位数	4
授業内容／形態	私が受講している中でこのクラスだけ、mid termがある。2番目に難しいクラス。 新現実主義や現実主義、新古典的現実主義などの観点から、各国の外交政策について学ぶ。		
成績	Satisfactory 3		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introduction to constitutionalism		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	レクチャークラスだが、回を重ねるごとに受講者数が減っていきセミナークラスようになります。立憲主義の基本について学びます。		
成績	Good 4		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Globalization Information Society		
履修期間	後期	単位数	4
授業内容／形態	<p>グローバルゼーションに関連する現象やプロセスを調査します。グローバルゼーションをめぐる論争やジレンマについて十分に理解することが授業の目的。さらに、グローバルゼーションの（政治的、経済的、文化的、社会的）側面についても考察します。グローバルゼーションに関する議論や、情報社会、相互接続性、グローバルゼーションの関連性を解釈する方法を学びました。</p>		
成績	Satisfactory 3		
YCU 振替予定	科目	Global Issues	
	単位数	2	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

高校の 3 年間は単身でアメリカ、カナダに留学していたということもあり海外生活に慣れてきた状態でハンガリー留学が始まりました。そのため、今回は特に細かいことは気にせず高校 3 年間で教訓を得た「留学先で日本人の友達やアジア人とだけ群れていると絶対に英語力が向上しないこと」、「友達作りは学期はじめがとても重要である」ということなど留学中に最重要となってくることのみを心に留め、留学が始まりました。人生の運を全て使い切ってしまったのではないかと思うほど素晴らしい友達ができ、帰国した現在でも交流が続いています。ハンガリーで通っていた ELTE 大学にはたくさんの留学生がおり、実際私の友達もハンガリー人ではなくフランス人（なぜかハンガリーでできた友達の 8 割がフランス人でした。私の性格はフランス人と合うのかもしれないという発見をしました。）

勉強面では高校留学時よりもかなり難易度が上がり苦労するのでは？と渡航前は心配していましたが、大学では国語、数学などの勉強ではなく自分が興味のあるものばかりなので、毎日とても楽しく新しい知識を身につけることができました。日本の大学生は他の国と比較すると勉強をする時間がとても少ないと聞いてはいましたが、実際にハンガリーで大学に通い学生の勉強への熱量や時間が大きく違うと痛感しました。

特に私が留学中ずっと一緒にいたフランス人の友人は政治学の分野で世界 3 位の大学に通っており彼女から多くのことを教えてもらいました。日本で国際関係学の勉強をしていたとはいえ、そのフランス人の友人とキルギス出身の友人（いつもこの 3 人で一緒にいました）が議論を始めるとそれを理解するのが精一杯で何も主張などはできませんでした。しかし、これからさらに勉学に励み、彼女達の政治分野の議論にも参加し発言できるようになりました。

また、高校時代のアメリカ・カナダでの留学では全く経験しなかった人種差別もたくさんありとても悲しい思いを多くしました。（ハンガリーでは 1 年間で 2 回ほどしかありませんが、ヨーロッパを 34 カ国旅行している最中にたくさんありました）2024 年の現在でも人種差別は色濃く残っており、我々日本人もその対象であるのだと実感しました。ヨーロッパに行く前には、人種差別への対応などを調べておくと戸惑わずに済むのかもしれない。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

ハンガリー留学中に大きく向上した、政治分野での探究心や勉強意欲を落とすことなく勉強に励みたいと思います。また、日本人とは異なる視点や考えを持つ教授や学生から学んだ知識をゼミでのディスカッションやディベートなどで活用しファシリテーター的な存在になりゼミを活性化させることができると考えています。後輩にも留学の良さを伝え 1 人でも多くの学生が留学に興味を持ってもらえるよう注力したいと思います。また、卒業後も国際協力に携わりたいと考えており、ハンガリーで座学を通して学んだことを実践していく機会が増えてくると思うので培った柔軟な考え方を大いに活かすことができると考えています。後期からは大学を 1 年間休学しガーナに行くので、この一年でさらに向上した英語力を使い現地の人との交流を深め、語学面では問題なく活動を行えそうです。ハンガリーで出会った私には勿体無いと感じるほど素晴らしい友達とこれからも交流を続けていきます。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

とにかく留学中は日本人留学生から離れ、違う国からの学生（アジア圏外）と親しくなってください。今年のハンガリーの留学でも、高校 3 年間の留学でも日本人やアジア人とのみ友達になり、留学に来た時と帰る時の英語力がほぼ変わらないという人を大勢見てきました。私がヨーロッパ圏出身の人と仲良くなることをお勧めする理由は、アジア圏での英語が上手な人とヨーロッパ圏での英語が話せる人の英語力のレベルは雲泥の差だからです。目の色も肌の色も髪の毛の質も色も違う人に話しかけに行くのは、よく似た顔の人種や同じ言語を話す人に話しかけるよりも勇気のいることかもしれません。しかし国が離れていればいるほど、文化も大きく異なるため会話をしているだけでも新たな発見が多く面白いです。ぜひ留学中は日本人集団からは離れて生活してみてください。

街にある ZAIQA というパキスタン料理屋さんのバターチキンカレーとほうれん草カレーとマンゴーラッシーが飛び上がるほど美味しいです。